



ちょっといい話 その3

今日は、年齢と春(花壇)にちなんだお話です。

ひつじ組は、未満児クラスでは一番のお兄さんお姉さんのクラスです。

とてもお話が上手になってきて、特に女の子は、女子会のような会話です。

そんな中、女の子同士の会話のエピソードです。

「私3歳になったから、もうお姉ちゃんだよ。」

「わたしもだよ。」

「先生は何歳？」

と、あまり聞かれたくない質問に

「先生は10歳です。」

というと、

「うちのママは30歳。じゃあママよりちいさいんだね。」

「そうだね。」

…苦笑いの先生でした。



年中組では花壇にチューリップの球根を植えました。

春になって、芽が出て花が咲くのを楽しみにしながら植えました。

同じ日、年中児が部屋に入ってから、年長児が同じ花壇にパンジーの苗を植えました。

そして次の日、年中児の子どもたちが花壇を見て、

「先生！チューリップの芽が出たよ〜！」

と、うれしそうに教えてくれました。

